

当院では、下記の臨床研究を実施しています。研究概要は以下のとおりです。

【研究課題名】

新規腎性貧血治療薬 HIF-PH 阻害薬と新型コロナ陽性血液透析入院患者の予後との関連について

【目的】

HIF-PH 阻害薬は体内の鉄利用を促進するはたらきがありますが、副作用として血栓塞栓症に注意が必要です。新型コロナウイルス感染症の透析入院患者さんはフェリチン（鉄の貯蔵および血清鉄濃度の維持を行う蛋白）が高値で鉄利用障害の状態にあります。この研究は、HIF-PH 阻害薬と新型コロナウイルス感染症の透析入院患者さんの予後の関連を明らかにすることを目的としています。

【対象】

2020年2月5日から倫理委員会承認までに、以前より血液透析をしており当院に入院された新型コロナウイルス感染症の方

【方法】

診療記録より当院研究担当医師が情報を収集し、調査票へ入力します。入力したデータは当院内で、保管・解析されます。この研究成果は学会や学術雑誌などで発表することがあります。

【個人情報の取り扱い】

収集した情報は、特定の個人を識別することができない状態で利用しますので、お名前などの情報が外部に漏れることはありません。

【利用する試料・情報】

診療記録（年齢、性別、人種、喫煙歴、高血圧の有無、糖尿病の既往、既往歴、臨床検査値、入院期間、入院中の合併症、転帰等）

【試料・情報の取得方法】

診療記録より収集

【研究期間】

倫理委員会の承認が得られてから 2025年3月31日まで

【研究代表者】

横浜市立市民病院 腎臓内科 永山 嘉恭

*この研究は横浜市立市民病院のみで行います

【当院の研究責任者】

横浜市立市民病院 腎臓内科 永山 嘉恭

【試料・情報の管理責任者】

横浜市立市民病院 病院長 小松 弘一

【連絡先】

横浜市立市民病院 〒221-0855 横浜市神奈川区三ツ沢西町1番1号

電話 045-316-4580（病院代表） 腎臓内科 永山 嘉恭

この研究の対象となる方またはその代理の方で本研究への参加を希望されない方は、上記の連絡先へお申し出ください。その場合でも、対象となる方に不利益が生じることはありません。

また、この研究の対象となる方またはその代理の方は、本研究の詳細（研究計画書及び研究方法に関する資料）を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手・閲覧することができますので、ご希望の方はお申し出ください。